

生駒北小学校

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果

○本校と奈良県、全国の平均は表の通りです。この調査は、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し教育施策の成果と課題を検証、改善を図ることを目的としているため、

教科の平均点の上下で一喜一憂するためのものではありませんが、児童への学習指導の充実や学習状況の改善に役立てる資料になります。今年度の結果を見ながら、子どもたちにつけたい学力が何で、本校はどんなところが苦手なのかを考え、今後の指導に活かしていきたいと思います。

	本校	奈良	全国
国語	65	67	66.8
算数	53	58	58
理科	56	57	57.1

【国語】

国語全体			本校	全国	全国との差
			65	66.8	▲1.8
学習指導要領の内容	知識・技能	言葉の特徴や使い方に 関する事項	82.4	76.9	+5.5
		情報の扱い 方に関する 事項	47.1	63.1	▲16
		我が国の言 語文化に関 する事項	64.7	81.2	▲16.5
	思考・判 断・表現	話すこと・ 聞くこと	58.8	66.3	▲7.5
		書くこと	74.5	69.5	+5
		読むこと	58.8	57.5	+1.3

○国語は奈良県から2ポイント、全国から1.8ポイント下回りました。特に、差が大きかった「①情報の扱い方に関する事項」、「②我が国の言語文化に関する事項」での問題でした。

- ① 話合いの内容を記録する際には、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことを通して考えを明確なものにしたり、思考をまとめたりすることが重要です。質問する内容を四角で囲み、線でつなぐことでインタビューの流れを整理していると捉えることが求められていました。

「木村さんは、『資料1』を読み、次の『木村さんの経験』を思い出しました。木村さんが経験を通して気づいたこととして最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。」

【木村さんの経験】

ひいおばあちゃん「かわやはどこ。」と聞いたことがあったなあ。ぼくが「かわやって何。」とたずねたら、お父さんは「使所のことだよ。」と教えてくれたなあ。ぼくはトイレって言うんだけどな。



木村さん

- 1 時代とともに言葉の意味が変わること。
- 2 時代とともにものの使い方が変わる。
- 3 世代によってもものの呼び方が違うこと。
- 4 世代によって言葉の使い方は変わらないこと。

1 小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューすることにしました。バスの運転士に興味のある小森さんは、インタビューで質問することを話し合っています。次の「話し合いの様子」と「話し合いの記録」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。きつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだよな。

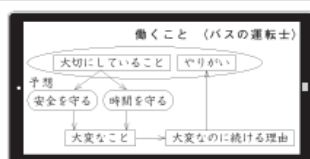
小森さん 確かに、大変そうだね。『仕事で大切なこと』で話してくれたことをきつかけにして、『仕事で大切なこと』を聞くことができるかもしれない。

清川さん バスの運転士は、寒そうだなと着ていたけど、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん きつと仕事にやりがいがあるからだだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。これまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方でいいか。



【話し合いの記録】

② 時代の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くためには、自分たちが普段使っている言葉とは異なる言葉があることや、それぞれの世代には特有の言葉遣いがあることに気付き、自分たちの言葉への関心を深めることが重要です。ここでは、木村さんが、経験を通して、世代によってもものの呼び方が違うことに気付いたと捉えることが求められていました。

【調べたこと】

〈本を読んで分かったこと〉	〈使ってみて分かったこと〉
○ブックカバー ・何回か折るだけで、すぐに完成する。 ・本の大きさに合わせて包むことができる。 ○ペットボトルカバー ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。	○ブックカバー ・よごれがつくのを防ぐことができよかった。 ・落としたときに、本がきづつかなかった。 ○ペットボトルカバー ・水たまりが荷物につかなくてよかった。 ・温かい飲み物が冷めにくかった。



三 山田さんは、『ちらし』の書き表し方について友達に相談し、『ちらし』のほうがよくいと考え、次の『調べたこと』を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

○書くことの問題は、全国平均より上回る結果でした。チラシ作成で二重線部を調べたことを基に詳しく書くという問いでした。本を読んで分かったこと、使ってみて分かったことの2つの条件をつなぎ合わせ、字数内にまとめることが求められました。記述式問題は比較的に正答率が悪くなる傾向がありますが、与えられた課題に対して文章にまとめることができていました。調べたことを新聞にまとめたり、自分の考えを書いたりする日頃の取り組みのからの結果と思います。

【算数】

算数全体		本校	全国	全国との差
		53	58	▲ 5
学習指導要領 の領域	A 数と計算	58.8	62.3	▲3.5
	B 図形	48.5	56.2	▲7.7
	C 測定	44.1	54.8	▲10.7
	C 変化と関係	51.0	57.5	▲6.5
	D データと活用	58.8	62.6	▲3.8

○算数は奈良県、全国ともから5ポイント下回りました。特に、差が大きかった「C 測定」での問題でした。

4

保健委員のあさひさんたちは、手を洗うときに使っているハンドソープについて話し合っています。



ハンドソープを空になるまで使ったら、何プッシュすることができるのかを知りたいです。

「プッシュとは、容器の先たんを下までしっかり」回すことです。

「プッシュしたとき、ハンドソープの液体が毎回同じ量ずつ出ることします。」



このハンドソープの液体と容器を合わせた重さは270gでした。

使いかけのハンドソープが空になるまでにあと何プッシュすることができるのかを知るためには、270gの他に何がわかればよいですか。

下の ア から エ までの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

また、その2つと270gを使って、あと何プッシュすることができるのか、その求め方を式や言葉を使って書きましょう。

ア 新品のハンドソープの重さ 360g

イ ハンドソープの容器の重さ 60g

ウ 「プッシュ」分のハンドソープの液体の重さ 3g

エ かんさんが1日に手を洗う回数の平均 7回

(2) 学校の手洗い場に、別の容器に入っている使いかけのハンドソープがあります。

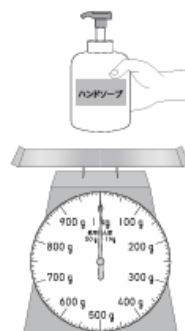
次に、あさひさんたちは、そのハンドソープを空になるまで使ったら、あと何プッシュすることができるのかを考えています。



新品だったらハンドソープの液体が何mL入っているのかは、はっきりわかるけれど、使いかけのハンドソープの液体が何mL入っているのかは、すぐにはわかりません。



ハンドソープの液体の重さをはかって調べられないでしょうか。



伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、 知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題でした。

正答例としては、記号をイ、ウと選び、次の①、②の全てを書いている。

- ① 使いかけのハンドソープの液体の重さを求める式や言葉
- ② 使いかけのハンドソープの液体の重さと1プッシュ分のハンドソープの重さを 用いて、あと何プッシュすることができののかを求める式や言葉

（正答例） ・【記号】イ・ウ 【求め方】使いかけのハンドソープの液体の重さは、 $270 - 60 = 210$ で、210 g です。あと何プッシュすることができののかは、 $210 \div 3 = 70$ で求めることができます。

本校児童の解答で多かったのは、記号は正しく選択できているが、式や言葉を書けていないのが 11.8%、記号でウのみ選べていて、式や記号は $270 \div 3$ や、ウ・アを選んで $360 \div 3$ と書けているものでした。

【理科】

理科全体		本校	全国	全国との差
		56	57.1	▲1.1
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	44.1	46.7	▲2.6
	「粒子」を柱とする領域	53.9	51.4	+2.5
	「生命」を柱とする領域	44.1	52.0	▲7.9
	「地球」を柱とする領域	71.6	66.7	▲4.9

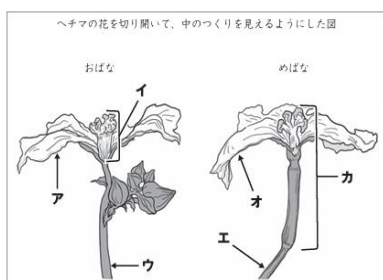
考察 全国平均との差が大きかった、「生命」を柱とする領域からの問題を取り上げます。

3 たかひろさんとてみるさんは、ヘチマの花のつくりについて調べています。



ヘチマのおぼなとめばなは、どんなつくりになっているのかな。

(1) ヘチマのおしべとめしべを下の図の ア から カ の中からそれぞれ1つ選んで、その記号を書きましょう。
また、「花粉がめしべの先につく」ことを表すことばを書きましょう。



問題3 (1) ヘチマの花のおしべとめしべ、受粉についての知識が身に付いているかどうかを問うものでした。

本設問にあるように、知識を他の学習や生活の場面でも活用できる程度に理解することが大切である。そのため、観察や実験したことについて、図に整理したり、関連する用語をまとめたりしながら、知識が身に付くように意識して授業を改善することが大切であると考えます。

本校児童は、おしべ、めしべの選択はできていましたが、「受粉」の単語が出てこなかったと思われます。

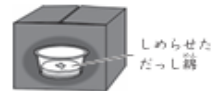
設問（４）は、レタスの種子の発芽の結果から、
 てるみさんの気づきを基に、見いだした問題 について表現できるかどうかを問うものでした。
 本設問にあるように、自然の事物・現象を 比較し、差異点や共通点を基に問題を見だし、表現することが大切である。そのため、複数の 自然の事物・現象を比較し、差異点や共通点を捉え、新たな問題を見いだしていくことの重要性について意識して授業を改善することが大切であると考えます。この問題は記述式解答でした。日光または肥料に着目することはできていましたが、その後に文を続けることが難しかったと思われます。また、無解答児童も多い問題でした。

たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。



レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、いつも発芽しなかったよ。

たかひろさんが行った実験



〈条件〉

- ・水あり
- ・空気あり（種子が空気にふれている）
- ・温度（室温）
- ・日光なし（箱をかぶせている）
- ・肥料なし

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の〈条件〉の中から 1 つ選んで調べてみたい。



（４） てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を 1 つ書きましょう。

児童質問調査の結果から

○「人の役に立つ人間になりたいと思う」、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の項目では、全国や奈良県よりも「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答が高い数字でした。本校は、地域の方々との距離も近く交流も盛んです。そんな中で育つ子どもたちには、お世話になっている地域の方々への魅力や憧れが生まれているかも知れません。これからも、自分たちが成長させてもらっている地域や社会に貢献できる子どもたちに育てて欲しいです。

○「自分には、よいところがあると思いますか」についても、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」との回答が全国・奈良県より高く、自己肯定感が高いことが分かります。今後も、自分自身に自信を持って日々過ごして欲しいと思います。そして、自分だけではなく、仲間と互いに助け合い、相手も尊重し思いやりをもった行動ができる子どもに育てる取組み等を進めていきます。

○学習面では、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」という問いがありました。回答としては、全国・奈良県と比較して同じくらいか少し低いポイントでした。本校も生駒市教育大綱に準じて授業改革に取り組んでおり、主体的で対話的な深い学びの実現に向けて研鑽、実践を積んでいきます。